



破碎ごみに焼却ごみ区分のものが混入しているよ。分別方法を確認してね。

ごみ集積所に出された破碎ごみは、環境センターの職員がすべて手作業で金属や危険物などに仕分けをしてから処理しています。破碎ごみに、誤って焼却ごみ区分のものが入っていると、破碎ごみの仕分けに時間と労力がさらにかかります。環境センターでのごみ処理が円滑に運営できるよう、改めて分別の徹底をお願いします。



●下記の製品は焼却ごみとして出してください



- ① プラスチック製品の容器など
- ② プラスチック製品のおもちゃ
(電池で動くものは除く)
- ③ 靴

ごみ減量推進課

☎・有 (584) 4692
FAX (584) 4818

ごみ分別
アプリ
配信中!



iOS版 Android版

令和3年度、消費生活相談ふりかえり

令和3年度に市消費生活センターへ寄せられた相談件数は580件で、令和2年度の599件からわずかに減少しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、通信販売などのインターネットトラブルが多くみられました。

事例としては、「お試し価格で注文した商品が、実は定期購入だった」、「代金を支払っても商品が届かず、偽サイトで業者と連絡が取れない」という契約トラブルです。

ほかにも相談は多岐にわたっており、通信販売以外の特定される相談は少なかったように思いますが、それだけさまざまなトラブルに巻き込まれやすいということではないでしょうか。

啓発においては、感染対策を十分にしながら出前講座を実施しました。今後も消費生活相談員が出向いて話をしますので、「賢い消費者になるために」ぜひご活用ください。

消費生活センターは、市役所1階9番窓口にあります。何かおかしいと感じたときは1人で悩まず、まずはご相談ください。

消費生活センター(生活支援相談課内)

☎ (582) 1146 FAX (582) 1138

もてなしの心

佐川美術館「アートコラム」67

立夏を迎える5月、茶の湯では夏の装いへ移りゆくとき。茶道の原点は風炉にありますが、茶の湯の一年を「風炉」の四季と「炉」の四季に二分して、5月ごろは10月ごろは風炉という道具を用いて湯を沸かし、茶を点てる期間とされています。

青蘆の季節を迎える美術館の茶室でも、炉をふさいで畳や道具を入れ替え、夏のしつらいに変わります。水庭では3月に刈り取った若葉が伸びて、腰のあたりまでに成長し青々とした蘆をご覧いただけます。

四季の豊かな自然に恵まれた日本には、「花霞」「空蝉」「木守」「風花」のような、自然の豊かさを表している多くの美しい言葉があります。茶席には、折々のしつらいに加え、床(床の間)の掛けものや、その四季ならではの銘を持つ道具や御菓子など、あらゆるところに日本人が大切にしてきた季節をとりいれています。たとえば5月の御菓子の



銘として「杜若」「薫風」「唐衣」「緑風」がありますが、形や色も工夫された御菓子は、席中でも話題になり会話が弾みます。

このような季節ならではの趣向での「もてなしの心」が、一期一会の茶会をより一層盛り立てているのです。

美術館では、作品との一期一会の出会いの感動をより一層盛り立てられるよう、「もてなしの心」でお客さまをお迎えする取り組みを行っています。



佐川美術館
学芸員・松山早紀子

※開館情報につきましては、ホームページでご確認いただくか電話(☎(585)7800)でお問い合わせください。